鉄研部員、台湾に行く

2 年部員一同

Day0：待ちに待った修学旅行

2025 年 10 月 26 日～30 日、本校 2 年次(79 回生)は修学旅行に行ってまいりました。行先は、なんと台湾！一つ上の先輩方の代で 80 年以上ぶりに復活した修学旅行。復活 2 年目にして行先が国外になりました。さすが土浦一高。パンフレットに「社会の発展に貢献できる、『国際的に活躍するグローバル人材』の育成」と書いているだけあります。

とはいえ、出発直前まで考査だったこともあり、多くの生徒が準備を急ピッチで行いました。私もその一人。スーツケースには服とお菓子と…。リュックサックには防寒着、勉強道具…。おっと、志も忘れずに持参しましょう。志のみでは出国できませんが、一高生たるもの、パスポートの次に大事ですね。実は、私は去年のスキー合宿をインフルエンザのせいで欠席しており、今回が高校生活最初で最後の宿泊行事でした。それゆえ普段より慎重に準備をしたつもりです。

という感じで、台湾がどんなところなのか、どのような旅になるのかは想像する暇もなく、気が付いたら修学旅行当日に！この記事では、私たちの修学旅行を、鉄研部員の視点も少々交えつつご紹介します。鉄分は薄めで、気軽に読めると思いますので、是非ご一読ください。80 回生以降の皆さんは、多分予習にもなります。

Day1：出発(10/26)

さて、出発当日です。まずは、本日の行程をおさらい。

時刻	内容	特記事項
13:00(日本時間)	集合@成田空港	各自集合
15:25	CX451 便にて出国	
18:25(以下、台湾時間)	桃園国際空港着	時差は日本の-1 時間
20:30	ホテル着	

今日はひたすら移動で一日が終わります。鉄道研究部としては一番オイシイところですね。

さて、時刻は朝 9 時。私は他数名と共に、電車で成田空港まで向かいます。成田空港に着くまでにやっておくべきミッションは 2 つ。昼食をたべることと、不足している持ち物を買い足すことです。

成田空港まではいくつかルートがありますが、大きい街ならば、食事も買い物も一度に済みそうですから、とりあえず船橋に行きましょう。柏で常磐線から東武線に乗り換え。終点船橋まですぐの到着です。

昼食ですが、しばらくの間日本食とはお別れですから、やはりここは日本食を食べておくべきでしょう。私たちが選んだ店は、定食チェーン「やよい軒」。船橋店さんにお邪魔しました。選んだメニューは「しゃけの塩焼朝食」。これで 550 円は安い。昼食なのにモーニングメニューを食べているなんて、野暮なことは言ってはいけません。しかも、やよい軒はご飯おかわり無料です。素晴らしい。



日本食を脳裏に焼き付けたところで、買い物です。船橋駅前には、すごく大きな 100 円ショップがあります。ここですべての必需品を揃えることができました。

船橋からは京成線で移動です。スカイアクセス線ではなく、京成本線で向かいましょう。



さて、私たちが降りた駅はこちら。成田空港駅…ではありません。東成田駅です。同行者の熱烈な要望により、ここで降りることとしました。この駅は、以前は成田空港駅を名乗り、空港輸送の中心駅として活躍していました。アクセスが良い現在の位置に成田空港駅が移動すると、当駅は東成田駅を名乗り、現在は細々と裏の玄

関口として活躍しているそうです。集合時間も近いですから、集合場所の第二ターミナルに向かいましょう。看板に従って歩いていくと…どうやらこの不気味な通路がターミナルまでつながっているそうです。





この通路、ひたすらこの景色が続きます。その長さなんと 500m。恐怖心からか、かなりの速足で駆け抜けてきました。

無事に集合し、クラス別にチェックイン。保安検査を通って、出国審査。無事に通過できました。どうやら、飛行機は 30 分以上遅れているそうです。搭乗口で再度集合になるまでに、お茶などの必需品を買っておきましょう。



乗ります飛行機はこちら。キャセイパシフィック航空 451 便、台北経由香港行きです。なぜか経由便でした。キャセイパシフィック航空は、oneworld アライアンスに所属する香港の航空会社です。日本で言うところの JAL ですね。

写真から薄々察していただけるとは思いますが、今日の成田の天気はハッキリ言って悪いです。離陸時の景色は雨雲で真っ白。今日は東京の空中散歩は厳しそうです。

機内食はチキンをチョイス。チキンの煮物に、サラダ、パン、ハーゲンダッツ。味はかなり美味しかったです。

西日本まで来ると天気も回復し、眼下には高知と鹿児島の夜景を望めました。

さて、飛行機が着陸態勢に入ると、台北の隣町、空港があります桃園の夜景を一望できます。機内には歓声があがりました。この歓声が無かったら、着陸時の衝撃で目を覚ますことになっていたでしょう。



さて、桃園空港に着いてからは急ぎ足で入境します。飛行機は結局 1 時間ほどの遅れとなり、行程が遅延しているため、このままではホテルに着くのが遅くなってしまいます。無事に入境完了。パスポートにはかわいいスタンプが押されました。

空港を出ますと、天気は晴れ。これから 5 日間を共にするバスとガイドさんがお出迎えしてくれました。クラス別に乗車し、ホテルに向かいます。ガイドさんからの説明は以下の通り。

・台湾の人は優しいけれど、ハンドルを握ると性格が変わる

・シートベルトはしっかり締めて

あとは、台湾の挨拶と、現地通貨「ニュー台湾ドル」についての説明をして頂きました。

〈お断り：以下、ニュー台湾ドルは「$」と表記し、$1＝¥5 のレートで計算しています。また、以降、帰国まで時間は台湾標準時にて記載します。日本時間の 1 時間遅れです。〉

21：10 頃でしょうか。行程から 40 分ほどの遅延で無事にホテルに到着しました。今日はこのまま就寝です。お世話になるホテルは、「シーザーパークホテル台北」さん。なんと、台北市街の中心駅である台北駅(日本で言うところの東京駅)の目の前に立地し、地下では地下鉄の中心駅「台北車站」(東京でいうところの大手町駅)に直結という好立地！(旅行中にこれらの駅から鉄道に乗る機会はありませんでしたけど…)

私は 12 階の部屋を充てられました。窓からの景色は…となりのビルの壁ですね。部屋は清潔で、設備も問題なし。もう遅いですから、このまま寝てしまいましょう。おやすみなさい。

Day2：学校交流&初めての台湾料理(10/27)

おはようございます。天気は晴れ。今日から本格始動です。まずは、今日の行程を確認しましょう。

時刻	内容	特記事項
6:30	起床&朝食	ホテルのビュッフェ
8:10	クラス別に出発	A組とD組、B組とF組、C組とE組という３コースに分かれて行動
9:00-18:00	学校交流×2	
18:00	夕食(台湾料理)	
19:15	ホテル着	

今日は何と言っても学校交流ですね。なにはともあれ、朝食を食べないと元気に活動できませんから、まずは朝食を食べましょう。これはかなり驚きだったのですが、ホテルの朝食が、日本のビジネスホテルで出てくるそれと、殆ど変わらないのです！パン、オムレツ、野菜炒め…。ジュースはオレンジ、アップル、そしてカルピス！私は毎朝カルピスを飲んでいました。あとは、台湾ならではの品として、肉まんやカスタードまんが並んでいましたね。(白米とか納豆は無かったです。残念。)

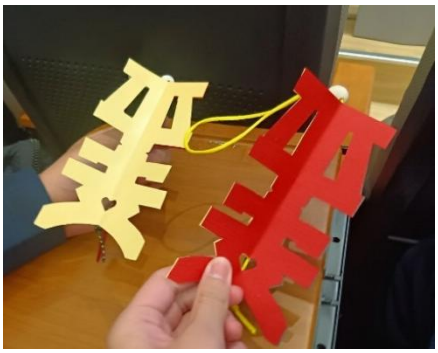
朝食をたっぷり食べたところで、荷物をまとめて早速出発です。以下、各コースの様子を簡単に紹介いたします。

Course1：A 組&D 組

このコースでは、桃園にあります大学と高校を訪問しました。大学では、日本出身の学生さんから学校生活についてお伺いし、台湾伝統の切り絵のような作品を作りました。これがその作品。割と上手にできたと思います。

午後は高校に移動し、一緒にランチタイムから。お弁当を頂いたのですが、味付けが明らかに日本とは違います。八角のようなスパイスが効いた焼き肉が入っていました。スパイシーで美味しかったです。ナムルなどは日本と同じような味付けでした。

高校生とは、学校付近にある「大渓老街」という古い町並みを散策しました。一緒に買い物をしたり、食べ歩きをしたり…珍しい食べ物も売っているもので、ひときわ目を引いたのはサボテン味のアイス。また、景色も素晴らしく、写真のような橋を渡りました。







Course2：C 組&E 組

このコースでは、市内の高校と大学をめぐりました。高校生とは、お互いの学校についてクイズを出し合ったり、校内探検をしたり…。大学では、キャンパスツアーをしていただいたのですが、ここに鉄研要素(?)が少々。大学の航空学科のキャンパスにお邪魔したのですが、講義室がなんと機内のような装飾になっていました。非常に座り心地の良いイスでした。



あとは、お茶の歴史についての説明と、中国の古い町並みの模型を見学しました。お茶の歴史は日本にも関連するもので、普段飲んでいるお茶の見方が変わるような体験でした。

Course3：B 組&F 組

このコースでは、歴史ある建物も多い台湾大学と、地元の高校にお邪魔しました。高校生は台湾スタイルのオタ芸(!?)

を披露してくださりました。また、course1と同様に、こちらは「三峡老街」を散策。高校生はみんなとっても元気で、ゲームなどを一緒に楽しむことができました。

さて、本日の夕食の時間です。今晩は、台北市街にあります、「中華楼」さんで台湾料理を頂きます。店内で私たちを待ち構えるのは、中国料理でおなじみの回転テーブル!!初めて実物を見ました。



メニューは、青椒肉絲に始まり、唐揚げ、チャーハン、野菜炒め…。これぞ台湾料理といったメニューが大皿に乗って届きます。写真の通り、料理一皿一皿はそこまで多くはありません。一つのテーブルに 10 人が座るので、小さめの唐揚げは一人 3-4 個といったところ。小皿にとる量は少量なのですが、終盤にはかなり満腹になりました。気づかぬ間にかなりの量を頂いていたようです。デザートは瑞々しいスイカ。ご馳走様でした。

さて、今日の行程は終了。ホテルに戻りましょう。今日は台湾の生活に触れる一日でした。部屋では、スーツケースに大量に頂いた高校生たちからのお土産を大切に詰めました。この具合で最終日にスーツケースが閉まるのかちょっと不安です。なにはともあれ、おやすみなさい。

Day3：企業訪問&クラス別行動&九份散策(10/28)

時刻	内容	特記事項
6:00	起床&朝食	ホテルのビュッフェ
7:15	コース別に出発	
8:30-12:00	企業訪問	6 コースに分かれる。
12:00	昼食(北京ダック🦆)	
13:20	クラス別行動	
17:00	九份散策(自由行動)	
18:20	夕食(台湾料理)	
20:30	ホテル着	

おはようございます。ここまで二日間は晴れていましたが、今日は雨です。雨でも気を落とさずに行きましょう。本日の朝食ですが、昨日とは若干メニューが違います。今日のチョイスはカルピス、バゲット、あと野菜炒めと…。昨日食べておいしかったトマトにチーズが載っているやつは無いですね。



さっそく企業訪問ですが、ここでは割愛させて頂きます。鉄研部員は 4 人しかいないので、全 6 コースを紹介することは困難ですし、ここに掲載してよいか分からない情報が多いので…。

昼食の時間になりました。本日の昼食は北京ダック🦆です。運ばれてきたのは左下の画像。私たちが想像する🦆です。皆がカメラを向けると、🦆はどこかへ行ってしまいました。数分すると、スライスされた状態で大皿に乗って帰ってきました。命の儚さを実感する瞬間です。





北京ダックは香ばしさもあり、旨味が強く、美味しかったです。

🦆のガラの部分は、スープになって帰ってきました。ガラからも旨味が強く出てきていました。特徴的な味わいです。

さて、クラス別行動ですが、こちらも省略させていただきます。全クラスを紹介するのは厳しいので…。各クラスが何をやったのかだけは書いておきますね。

B,D,E 組：十分へ向かい、ランタン飛ばし体験&滝を見学

A,C 組：猫空へ向かい、ロープウェイから景色を望む

F 組：小籠包づくり体験←おいしそう

時が過ぎるのは速いもので、いつの間にか夕方です。ここまでで修学旅行の「修学」の部分は大体終わったのではないでしょうか。そう、ここからは観光がメインの「旅行」が始まります。



まずは九份散策です。この街は、台湾北東部に広がる街で、古くからの街並みの景観が観光スポットになっています。この街を舞台にした作品が、有名な台湾映画「非情城市」。また、九份にてひときわ目を引く「阿妹茶楼」は、映画「千と千尋の神隠し」に登場する「油屋」のモデルになったのではないか、と言われており、日本人の知名度もかなり高い観光スポットです。(なお、九份が千と千尋のモデルになったという説は、宮崎駿監督が自ら否定しているそうですが…)

九份散策は 17 時ごろから 1 時間ほど。夕暮れの時間帯で、景色は一番映える時間帯です。私はこの時間を利用し、お土産を購入。ガイドさんおすすめのパイナップルケーキ 30 個ほど買いました。特筆事項として、(鉄道研究部の部誌でこの話をするのも野暮なものですが、)九份散策が始まった途端、一気にカップルが増えました。



九份散策が終わったら、九份にある台湾料理店で夕食を頂きます。回転テーブルも見慣れたものです。実は、この食事がみんなで食べる最後の夕飯となるので、名残惜しさを感じながらも美味しくいただきました。この夕食で一番の思い出に残ったのは、間違いなくこの料理でしょう。⇨こちら、唐辛子と何かの炒め物です。これがね、異次元の辛さなんです。ここまでの 3 日間の料理で、辛い物は一切出てきませんでしたが、ここにきて隙を突いてきました。本当に辛いです。先生方も絶叫。しかし不思議なことに、人間の性というものでしょうか、なぜか「辛い!!!!」と分かっていてもこの唐辛子を食べてしまうんですよね。人間というのは愚かなものです。

みんなの舌が腫れたところで、九份を後にします。あとはホテルに帰るだけです。台湾で楽しむのはあと 1 日。明日のビックイベントに備えて、今日は早く寝ましょう。おやすみなさい。

Day4：忠烈祠&故宮博物院& B&S プログラム(10/29)

時刻	内容	特記事項
6:20	起床&朝食	ホテルのビュッフェ
8:15	忠烈祠→故宮博物院見学	A-C 組は故宮博物院が先
12:00	B&S プログラム	
18:30	士林夜市散策	
20:30	ホテル着	

週の真ん中、水曜日です。天気は晴れ。今日も元気にいきましょう。なんだか、朝食のラインナップが月曜日と同じですね…。気付かなかったことにしましょう。

今日の朝食には、黄色のスイカが出てきました。8 個食べた友人によると、美味しかったらしいです。



さて、今日の旅は忠烈祠の見学から始まります。忠烈祠は、戦争や革命で命を落とした戦没兵士たちを祀る慰霊施設です。忠烈祠の見どころは、なんと言っても衛兵交代式。忠烈祠を守る衛兵たちは、厳格な儀式によって交代します。その様子が観光客向けに公開されている、というわけです。

交代式は、銃を持った隊員たちにより、厳かな雰囲気の中で行われます。動画はここに載せられないので、気になる人は Youtube で探してみてください。





続いては国立故宮博物院。台湾で最も大きい?博物館です。展示品で最も有名なのは、「白菜」と「豚の角煮」でしょう。どちらも、石の彫刻作品です。故宮博物院は非常にボリューミーなのですが、私たちに許された滞在時間はたったの 1 時間 20 分。これではすべてどころか 1 フロアも見切れません。が、ガイドさんが見どころだけを紹介してくれましたので満足です。続きはもう一回来て見ましょう。

台北市街に戻りました。ここからは、待ちに待った B&S プログラムです。このプログラムでは、現地の大学生とグループになり、大学生の案内で街歩きをします。修学旅行の一大イベントです。

市内移動には地下鉄を使いました。台北の地下鉄は、東京と同様に多数の路線が張り巡らされています。乗車時には、改札機にカードをタッチ。下車時も同様です。日本の Suica と同じシステムで乗り降りできました。以下、各部員が回った様子を写真でご紹介します。





〈左〉昼食の牛肉麺。($170=¥850) ダシの効いているスープが美味。牛肉はホロホロに煮込まれている。
〈右〉地下鉄の駅。日本と大差ない。エスカレーターは右側に立つのが台湾流。





〈左〉台北 101。超高層ビル。夜になるとライトアップをする。
〈中央〉龍山寺。台湾スタイルのおみくじを体験できる。私の運勢はあまり良くなかった。
〈右〉剝皮寮歴史街区。18 世紀の歴史ある建物が並ぶ。

時刻は 18 時。今日の夕食会場である、「士林夜市」へ向かいましょう。この時間ともなると、帰宅ラッシュになり、地下鉄は大混雑。大学生とは、夜市でお別れです。ありがとうございました。



さて、本日の夕食ですが、夜市で自由散策を行い、各自食べることになります。何を食べましょうかね…?ここは無難に小籠包でしょうか。実は、台湾に来てから私は小籠包を食べていなかったんです。屋台(というよりはフードコート)で小籠包を注文。スタッフのお姉さんに「Beer?」と、ビールを勧められました。未成年の私は残念ながらお断り。5 分ほどでしょうか。完成しました。て"き"た"ぁ"!!

本日の夕食は、小籠包とコーラです。もうね、最高。優勝です。量こそ少ないですが、ここまで大量に美味しいものを食べた私にはこのくらいで十分でしょう。

ダージーパイ、臭豆腐…食べたいものはいっぱいありましたが、この辺でお時間になってしまったので断念。おとなしくホテルに帰りましょう。臭豆腐を食べた友人の上着にこびりついていたあの匂いは、一生忘れません。

気が付いたら台湾で過ごす最後の夜です。明日のこの時間にはもう日本。名残惜しいですが、荷物をまとめて、早めに就寝しましょう。おやすみなさい。

Day5：帰国（10/30）

時刻	内容	特記事項
6:50	起床&朝食	ホテルのビュッフェ
8:10	お土産品店	
10:30	桃園国際空港着	
12:50	CX450 便で帰国	
16:50(日本時間)	成田空港着・解散	

＊最終日はあまり書くことが無いので(というより大部分の記憶が睡眠により無いので)、内容が薄めです。

おはようございます。最終日です。今日はお土産を買ったらそのまま帰国します。

朝食は…相変わらずですね。おとといのメニューと同じでした。

部屋に忘れ物がないことを確認し、バスに乗ってお土産屋さんに向かいましょう

お土産屋さんでは、台湾中のお土産を買うことができました。なんといってもパイナップルケーキ、台湾茶…。リュックサックの限界まで買いました。

バスは桃園空港へ。高速道路で過ぎ去っていく台北の景色は、ここまでの 4 日間をフラッシュバックさせます。絶対にまた来ましょう。次回は故宮博物院をもっとちゃんと見たいですね。

無事に出国審査を済ませ、搭乗までは時間をつぶします。私たちはバーガーキングに行きました。日本より若干高いでしょうか…?



帰りの飛行機は、行きと同じく、キャセイパシフィック航空の CX450 便東京行きです。帰りのフライトは爆睡でした。機内食はチキンを選択。日本風煮込みだそうです。これは生姜の風味が効いていてかなり美味しかったです。

偏西風に乗った飛行機は 3 時間ほどで関東まで。天気は晴れ。行きとは大違いです。太平洋から九十九里浜を望み、成田に着陸。入国審査も問題なく通過し、ついに日本の地に足を踏み入れました。

さて、成田空港に到着し、これをもって解散です。帰りは、各方面に向かう貸し切りバスで移動です。鉄研一行は、土浦駅まで帰りました。お疲れさまでした。ゆっくり寝ましょう。

Day6：振り返り(帰国後)

さて、修学旅行記はいかがでしたでしょうか?鉄研の部誌らしからぬ鉄道要素の少なさですが、お楽しみいただけたでしょうか。私たちの修学旅行は、前例のないもので、出発前は不安なところも多かったですが、トラブルなく無事に帰国出来て本当に良かったです。台湾は楽しかったので、ぜひともう一度行きたいと思います。

Day10：登校日(11/4)

さて、帰国後初の登校日です。みんなが笑顔で、お土産を持ち寄って登校する…はずでした。現実はそう甘くありません。なんと、各クラスとも 10-20 人が欠席。1 時間目の授業が始まる前に、学年閉鎖が確定し帰宅になりました。インフルエンザ大流行です。昨年のスキー合宿に続き、79 回生はどうもインフルエンザとご縁があるようです。おしまい。

☆おいしかったものランキング

1 位 牛肉麺

2 位 小籠包

3 位 帰りの機内食のチキン

☆また行きたいところランキング

1 位 故宮博物院

2 位 台北駅

3 位 桃園市街